

はやま住民福祉センターだより



今月のテーマ

福祉教育推進講座 <地域支え合い学習会(葉山町委託事業)>
「福祉教育の必要性やその取り組みから自分達にできることを考える」を開催しました。

葉山町社会福祉協議会、令和6年度の重点事業のひとつである“福祉教育”の推進のため、シリーズ化を目指して開催している講座です。第2回目となる今回のテーマは、「協同実践」。

基調講義では、前回に引き続き宇都宮短期大学の宮脇文恵教授をお招きし、「福祉教育の必要性」について再確認をしました。宮脇教授の軽快な語り口調で自身の体験談も交えてお話しいただき、「できないこと」だけに焦点を合わせた体験ではなく、「できること」をクローズアップできる体験や、「障がい」の理解ではなく、「障がいのあるこの人」の理解が必要なこと、そのためには「仲良くなるのが1番」だということなどを学びました。クリアファイルを使つての「見えにくさ」の体験では、皆さん真剣な表情でクリアファイルを覗かれています。

実践報告①では、逗子市社会福祉協議会の平山智也氏より、逗子市の小学4年生が地域の駅やスーパー、車椅子ユーザーの当事者の方や住民など様々な方の協力を受けて「車いすでまちに出た」授業の報告がありました。「授業でこんなことができるんだ?」「こんなことをやってみたい!」と思える報告と平山氏の巧みな話術に皆引き込まれてしまいました。

実践報告②では、葉山町社会福祉協議会の倉本より、令和4年度に長柄小学校と協同して行った「総合的な学習の時間」の報告と、これから葉山町の福祉教育をどんどん盛り上げていきたい!という熱い思いの表明がありました。

グループワークでは、教員や町内会の他、地域で活動をしている様々な立場の方々が、「わが町のバリアーは何か?」「自分にできることは何か?」について話し合いました。

「福祉教育」は子どもだけのものではありません。私たち大人も共に学び合うことが大切だということを改めて感じる事ができた講座でした。



クリアファイルを使用して、見えにくさの体験をしました。

一緒に葉山町の福祉教育を盛り上げていきましょう!!

グループワーク冒頭では、手作り名刺を使用した自己紹介を行いました。

実習生も真剣な表情...

◆ 葉山町社協に実習生が来ています! 8/19(月)~

神奈川県立保健福祉大学
(かない みれい)
金井 美怜
「23日間よろしくお願ひします!」



関東学院大学
(きたむら ひな)
北村 日菜
「よろしくお願ひします!!」

不登校・ひきこもりの家族会 葉山ゆずり葉の会

○日時:9月26日(木)10:00~11:30 ひきこもりの人の家族 ZOOM参加も可、不登校編は5月から個別相談が中心となっています。(下記メールへ要事前連絡)
○会場:葉山町福祉文化会館 2階第2集会室(イスあり)
ゆずり葉の会 zushi.yuzurihanokai@gmail.com



◆ 第7回 佛乘院 お寺で休息 ~語らいカフェ~ 塗り絵で楽しむお地藏様

○講師 中西 桂子氏(アート療法士・カウンセラー・女性と子どものアトリエ陽)
○日時:9月13日(金)13:30~16:30頃(時間中は出入り自由)
○会場:高野山真言宗 佛乘院(逗子市小坪4-26-3・0467-23-3274) バス停「小坪海岸」から徒歩2分
○メール: goen.butu@gmail.com
○参加費:500円
○申込み・問い合わせ:佛乘院または後援協力先へ
主催 高野山真言宗 海潮山 佛乘院
後援 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会
協力 社会福祉法人葉山町社会福祉協議会
不登校ひきこもり相談室「ヒューマンスタジオ」
一般社団法人 お寺と教会の親なきあと相談室
株式会社 文化時報社

